

■ 平成17年度 JIPAT 新年懇親会
設立以来、10回目の新年懇親会は毎回会場をお借りしてきました、東京デザインセンターのギャラリーから昨年竣工しました(株)文化シヤッターBXビルのホールに移し1月20日(木)に開催いたしました。若手I'sの会の須藤会員と賛助会員企業ワイスワイスの松房さんの司会により新たな思いをこめての開催となりました。当日(財)建築技術教育普及センター山中専務理事を初め(社)日本商環境設計家協会 奥平副専務理

事・(社)日本インテリアデザイナー協会の坂本理事らを含め16名の主賓・来賓・報道関係者をお招きし、134名の会員が集まりで総勢150名の皆様にお集まりいただきました。中川会長の挨拶に始まり、来賓主賓挨拶及び新入会員の紹介そして奥平様の乾杯、そしてIPECの決起表明を志村副会長に続き恒例になりました福引そして賛助会員副代表幹事の川原さんの中締めにてこの会は無事閉会となりました。懇親会を運営しました会員交流委員会の担当の反省事項と

して過去4年間の会員出席者、特に正会員について分析いたしましたところ平均して44名前後のうち8割強が毎年、同じ人たちの参加を頂いていたこととなり、ほぼ固定化している事が判りました、より多くの会員皆様の参加を頂く為には運営主体、運営方法を含め、より多くの人の意見を取り入れるなどして、新しい型で第十一回新年懇親会が開催できること期待したいと思います。

松澤 記

■ JIPAT 出張レクチャーのご案内
「身近で誰にでもわかりそうなインテリアの世界。最も大切な生活環境のありかたについての的確に講義、解説いたします」事業委員会でJIPAT出張レクチャーを進めてきましたが、このたび、実施とサポートの枠組みを練り直し、案内パンフレットを用意しました。活動を行う目安としては、次のようなフィールドを設定しています。「インテリアビジネスにおける商品開発や販売の支援のお手伝いをする

インテリア関連企業へのレクチャー」「市民講座など教養としてのインテリア知識を広く生活者へ届けるレクチャー」「ワークプレイスや商業施設など新しいインテリア計画の効用を企業・商工者団体・各種協会へ紹介するレクチャー」「インテリアを学ぶ学生のみならず小中高の児童生徒へインテリアの面白さ大切さを紹介するレクチャー」の四つです。皆さまの近くに、実施対象になりそうな情報があればお寄せください。また、さまざまな話題に応じ、

講師をお引き受けいただける方を募集しています。協会ホームページに登録用紙を掲載しました。JIPATからインテリアにまつわる話題を広く社会に開示・提供し、インテリアプランニングへの理解を深めていただくために、会員諸氏の積極的な参加と協力を賜りたくよろしくお願い致します。講師登録用紙をHPからダウンロードできるよう近々にアップロードします。

事業委員会 樋口孝之

■ 会員制度の変更についてのお知らせ

JIPATでは会員制度のより良い在り方について、会員各位・各委員会からのご意見を参考にし、総務委員会・会員増強特別委員会を中心に制度の見直しについて討議を重ねてきました。1月度の理事会で制度の変更が審議され、承認が得られましたのでお知らせします。この度の会員制度の変更のねらいは、JIPATが「IP資格登録者の団体」から「IP資格登録者を中心とした団体」に衣替えし、資格登録者以外の方の入会を促進し、JIPATの組織・事業の強化と活性化を図ることです。変更内容は、

1. 準会員を一般会員と学生会員に名称変更：
・ IP受験・資格登録制度の改正と「準会員」の社会的イメージを考慮し、名称を変更します。

2. 賛助会員を法人会員に名称変更：
・ JIPATへのサポートイメージから協会発展のイコールパートナーイメージに刷新する為、名称を変更します。
3. 入会金・年会費の改定：

[別表]

	入会金 (円)		年会費 (円)	
	改定	現行	改定	現行
正会員	3,000	3,000	12,000	12,000
一般会員 (旧準会員)	3,000	1,000	12,000	6,000
学生会員 (旧準会員)	3,000	1,000	0	6,000
法人会員 (旧賛助会員)	10,000	10,000	48,000	24,000 (2口以上)

- ・ 会員の特典や会員相互の不公平感を考慮し、金額を改定します。
- ・ 2005年4月より既会員も含め実施します。別表を参照ください。

■ 情報委員会からのお知らせ 1

次年度より、ニューズレターとインフォメーションをメールで、お届けすることになり、FAXでの配信が中止になります。つきましては、名簿にE-mailアドレスを載せていない方、アドレスに変更がある方は、3月末までに情報委員会に、メールでお知らせ下さい。

メール宛先：news@jipat.gr.jp

なお、メールをお持ちでない方は、JIPATのホームページに、NL、INFをのせてありますので、おそれいりますが、HPをご覧下さい。引き続きFAXでの配信をご希

望の方は、その旨、上記メールアドレスまたは事務局までお知らせください。事務局 〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-25-19 東京デザインセンター 3階 TEL: 03-3446-8860 FAX: 03-3446-1417 E-mail: office@jipat.gr.jp

■ 情報委員会からのお知らせ 2

第11回通常総会にあわせて発行されるジャーナル11号の広告を募集いたします。会員の皆様には、Fネットにて広告の依頼と申込み書を送らせて頂きますので、ご検討のほどよろしくお願い致します。

又、JIPATのホームページからも申込み書がダウンロードできますので、ぜひご利用下さい。

JIPAT HP URL: <http://www.jipat.gr.jp/>



■ 途中下車

横浜パシフィコに展示会があり、桜木町駅を降りランドマークプラザをぬけると見覚えの有る赤いロゴが目飛び込んできた。ちよつと途中下車をすることにした。カンディーハウスとは、HOUSEは英語の「家」ですが、CONDEは特別な意味を持った言葉ではありません。当初から海外での展開をめざすカンディーハウス事業にとって、訳したときに国によって事業内容の捉え方に違いがあるといけなないと考え、「どの国においても該当する言葉のない造語」の使用を考え、アメリカの



ピーライターに依頼してつけられた名だと以前聞いたことがある。ショップ内は木部をふんだんに使った家具で、自然の丘陵を散策しているような錯覚を覚えたのは私だけでなく、昼休みに近くのオフィスからぶらりと店内を見て気持ちをリフレッシュして

帰られる人もいと聞く。もともとここは、“職人は良いものを作れば売れる”と云う反発から誕生したショップだそうで、“お客様の声をメーカーにバックしながら、良いものを作りたい”が、そこここに使ってみたい小家具が散在していて、顔の見える接客を心がけておられる証か。それがお客様のメリットになるのなら、インテリアセンターは進んで行く会社でありたい。特に傷や破損などの修理や、ファブリックの張り替えはむしろ大歓迎なのです。なぜなら修理はお客様の愛着の証であり、またお客様と顔を合わせることが出来る貴重な機会。どんなときも、顔の見える販売体制を心がけたいと。4階には昨年7月にオープンした「アネックス」ショップがあり、アネックスとは何ですかと聞くと、ネクスト・カンディーハウスつまり、自分のネクストを発見しなさいとのキーワードでつくりましたと。映画が好きな私に置き換えて、スクリーン映し出されるDVDをドルビー効

果の効いた音響で楽しみたいと問い掛けると、それではと、9階に案内され120インチのスクリーンが壁から降りてきて、鮮明な画像と音響に驚いた。そこには藤田社長の子供の心を持ったままの好奇心あふれるショップが具現化されていた。また4月に3階と4階をリニューアルするそうで、是非訪ねて楽しんで下さい。



■ 賛助会員総会報告

委員各位殿

第2回 総会準備委員会を下記に開催しますので、ご出席ください。

.....記.....

日時：2005年3月31日（木）

18：30～20：30

場所：JIPAT 事務局

<議題>

1. 各委員会議案書のまとめと確認。
2. 講演者の立案の確認.....事業委員会
3. 交流会の企画の確認.....

会員交流委員会

4. 議案説明者・議長・書記・議事録署名人・司会者の立案
5. その他
濱 弘美
(株)竹中工務店

■ 3分間のタイムスリップ

George Hepplewite

? ~ 1786

次に登場するのがこのヘップルホワイトです。1786年に亡くなったことだけは知られている彼は、1760年頃の青春期をランカスターの工場で働き、修学の後ロンドンで店舗をかまえ、家具の制作を始めたといわれています。彼も初めはアダムの影響で新古典主義風のを創作しましたが、アダムの生真面目な装飾性に対し、彼は、より日常的でシンプルなデザインを目指したようです。彼の多くの作品の内、もっとも評価の高い物は椅子であり、その背に特徴があります。最も有名なシールドバック(Shield Back)は中央に花瓶や花をあ



[ヘッペルデスク(スペードフット)]



[シールドバックイス]

しら、他にも卵型、ハート型、フープバック等様々なパターンの背が見られます。

彼も The Cabinet Maker and Upholsterer's Guide、家具製作者と装飾者への手引き、という本を彼の死後二年経ってから、アリス未亡人が出版している。彼は「美しさと実用性を合致させ、使い易さと心地良さを混ぜ合わせ」という、現代に通じる彼のポリシーとデザインの方向性を示しています。

先細りのテーバー付きの先端はスペードフットといわれる独特の飾り脚になっている。特徴は細身の軽快で繊細なデザインにあります。材料は主としてマホガニーで、装飾や象眼はサテンウッドやその他の硬木が用いられた。



[キャストター]

後のデザインに大きな足跡を残したのが跳ね脚の先に水平に取り付けられた真鍮の箱型キャストターである。それまでもキャストターはあったが、彼のデザインした左写真のスタイルは動きが良かったのかその後大流行をした。

■ 知って知らない道具作り

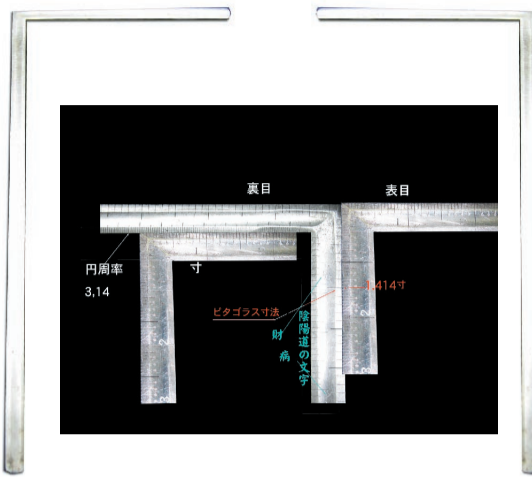
規矩術

規はコンパスの事を云い、矩はサシガネの事をいいます。

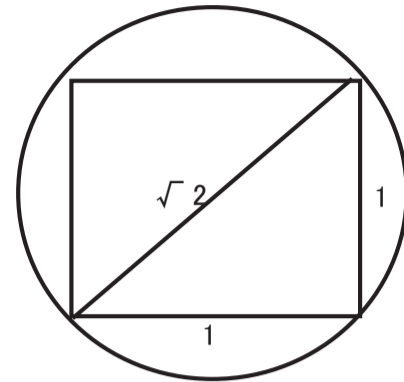
下の図はサシガネの拡大図です。サシガネには裏目と表目があり、表目は単に寸が刻まれており $12\sqrt{12}$ 裏目には、何とピタゴラスの定理や円周率が刻まれています。

丸目（円周率）は軒などの丸い材に銅板などを巻く時に直系を計ると銅板の幅を割りだせる訳で紐などを使い円周を計る必要がないのである。なるほど、術がつくのもさもありなんである。サシガネは中世から有ったようで平安時代の末期の建物にはこのサシガネが使われた形跡が残っている

そうです。丸目の方は江戸時代頃からつかわれはじめたようです。



ピタゴラスの定理はどんな具合に使うかと云いますと、丸い木材から四角な柱を作る時、直径を計ると 1 対 $1 = \sqrt{2}$ から、すぐに四角な柱を割りだせると云うわけである。



JID関東事業支部・研究委員会 / スケルトンインフィル研究プロジェクト・セミナー開催のご案内

社団法人日本インテリアデザイナー協会 関東事業支部 / 研究委員会
研究委員会委員長 長岡貞夫
SI 研究プロジェクト・リーダー 酒井正人

■テーマ：「スケルトンインフィルとインテリアデザイナーの役割」

(社) 日本インテリアデザイナー協会・関東事業支部研究委員会に所属する「スケルトンインフィル研究プロジェクト」では、近年、建築概念として注目されてきたスケルトンインフィルによる建物、空間におけるインテリアデザインの可能性やインテリアデザイナーの役割をテーマに研究活動をおこなってまいりました。この度、16年度の研究活動報告と共に、コンバージョンやリノベーションといった建物再生が活発化する今、スケルトンインフィル市場の動向やインテリアデザイナーから発信するビジネスシーンについてのセミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

- 講演：野城 智也 氏（東京大学 生産技術研究所 教授 / 工学博士）
建物の中身（インフィル）を動産化することにより空きビルを住居として再利用するシステムを考案・研究されている。著書「サービス・プロバイダー」
望月 朗 氏（野村不動産株式会社 オーダーメイドマンション事業部 副部長 / 一級建築士）
「PROUD」、スケルトンインフィル仕様のマンション事業に携わっている。

- 開催日時：2005年3月25日（金）
セミナー及び研究活動の報告：午後 6:00 ~ 8:20
懇談会（ワインパーティー）：午後 8:20 ~ 9:00

- 開催場所：リリカラ（株）ショールーム・会議室
東京都新宿区西新宿7-5-20
tel. 03-3366-7865

- 参加費：一般 / ¥1,500 JID 会員 / ¥1,000 学生 / ¥500

- 主催：社団法人日本インテリアデザイナー協会
関東事業支部 研究委員会

- 協賛：コマニー株式会社

- 後援：リリカラ株式会社

お申し込みは、JID本部事務局 FAX：03-5322-6559
または、Email：head@jid.or.jp までお願い申し上げます。

案内図



JR 新宿駅西口より徒歩 10 分
JR 新大久保駅より徒歩 8 分
JR 大塚駅南口より徒歩 3 分
西武新宿線北口より徒歩 3 分

申し込み用紙

JID 会員 (NO,) 一般 学生

氏名： 所属：

TEL: FAX: Email: @

◆ 編集後記 ◆

今回はたくさんの記事をいただきました。年度替りから、建築家のお宅拝見を真似て“デザイナーのお宅拝見”を連載しようと

懸案しております。気の利いた記事をおよせ下さい。情報でも下されば取材に伺います。 井上 村元

発行者：東京インテリアプランナー協会 会長 中川 誠一 編集者：情報委員会